

市場初せり



1月5日(月)、新年を迎えた卸売市場で初せりが行われました。初せり式では、卸売市場代表取締役の手塚庄右衛門さんから「時代が変わり市場の経営も厳しくなりましたが、これが現実。頑張っていきましょう」とのあいさつがありました。せりが始まると、せり人の威勢のいい声が市場に響き、買い受け人たちは白菜やネギ、キュウリなどの新鮮な野菜を、次々とせり落としていました。

12月13日(土)・14日(日)の2日間、冬至にちなんで鬼怒川・川治温泉のすべての温泉がゆず湯風呂になりました。14日は、鬼怒川温泉駅前広場でけんちゃん汁やゆずの無料配布が行われ、駅前にある足湯もゆず湯風呂になりました。雨が降る肌寒い日でしたが、多くの観光客が訪れ、けんちゃん汁や足湯で体を温めていました。



ゆず湯風呂キャンペーン



1月4日(日)、日光二荒山神社中宮祠で武射祭が行われました。かつて男体山の神と赤城山の神が争った故事に由来するこの神事では、境内の上神橋から赤城山の方角に向かって矢を放ちます。初めに吉田健彦宮司が「やあー」の掛け声とともに矢を放ち、その後、神職、県弓道連盟の方約20名が続いて矢を放ちました。放たれた矢を拾った方たちは、神社でお守りを付けてもらい、大切に持ち帰っていました。

武射祭



12月13日(土)、安全で安心なまちづくり推進市民大会が日光総合会館で開かれました。大会の冒頭に、事件から3年が経過した女児殺害事件の被害者である吉田有希ちゃんの冥福を祈って、参加者全員が1分間の黙祷。その後、今市、日光の両警察署から交通事故や犯罪の発生状況などの報告があり、有希ちゃんの事件についても、どんなに小さな情報でも良いから提供して欲しいと呼びかけました(写真①)。



また、元NHK解説委員の伊藤和明さんが「近年の地震災害に学ぶ」と題して講演を行いました。新潟地震による地盤の液化化現象や、岩手・宮城内陸地震による建物の損壊などについて、いつ起こるか分らない災害に備えるため、過去の事例を用いながら解説しました(写真②)。



12月13日(土)、第3回日光市駅伝競走大会が開催され、一般の部は日光総合会館(写真①)、中学生の部は豊岡運動公園をそれぞれスタートし、市役所本庁舎のゴールを目指してたすきをつなぎました。7チームが出場した一般の部・支部対抗では、藤原支部が単独チームとして初出場(写真②)。同じく初出場の大沢支部(写真③)が、7区間中4区間で区間賞(区間1位)を獲得し、優勝しました。

大沢支部で5区を走り、区間賞(区間新)を獲得した倉沢ありささん(宇都宮文星女子高校1年)は、「調子が良くて自信もありましたが、区間賞が獲れて嬉しいです」と話してくれました。

14チームが出場した一般の部・オープンでは宇都宮自衛隊Aが優勝、また10チームが出場した中学生の部では、6区間中5区間で区間賞を獲得した今市中学校Aが、3連覇を達成しました。



市民朝市最終回



12月14日(日)に、最後の市民朝市が開催されました。市民朝市は旧今市市の市制20周年を機に昭和49年11月から始まり、県内で一番古い歴史がありました。最終回となった40回目の朝市には、出店をやめていた数店も最後ということに参加し、計28店が出店しました。当日は前月の5倍以上の来客者



大根の無料配布の様子。

があり、午前6時30分の朝市開始と同時に、実行委員会が用意した紅白のもち200個と大根100本が最終回を惜しんで訪れたお客さんに無料で振る舞われました。訪れたお客さんからは、「終わるのは残念」との声が多く聞かれました。また、出店者の方は、「今回で終わるのは寂しいけど、このご時勢では仕方ない。いつも今日ぐらい人が来れば続けられたかもしれなけれど」と話してくれました。

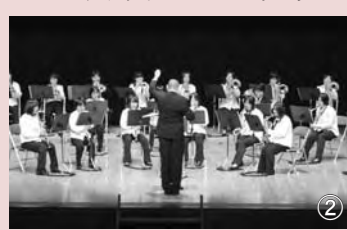


昭和49年11月の第1回の様子。

今月の表紙

成人式

1月11日(日)、日光市では、1,095名の方が成人式を迎えました。市内5つの会場に分かれて行われた式典には、合わせて885名が出席。新成人として門出を祝うとともに、誓いを新たにしました。晴れ着などで華やかに着飾った新成人の皆さんは、久しぶりに会う友人との話に花を咲かせたり、みんなで写真を撮ったりと、楽しい時間を過ごしていました。また、今市地域では、中学校の卒業アルバムから作成したスライドショーや中学校時代の先生からの思い出話(写真①)。日光地域では、日光吹奏楽団による演奏(写真②)。藤原地域では、中学校時代の先生からのお祝いの言葉やスライドショー、中学校卒業時に埋めたタイムカプセルの開封(写真③)。足尾地域では、あかがね太



鼓少年隊と足尾和太鼓チーム銅による太鼓の演奏(写真④)。栗山地域では、保育園入園から中学校卒業までの写真の展示(写真⑤)と、各会場で、式典のほかにも新成人を祝うさまざまなアトラクションなどが行われました。特にスライドショーや先生からの話、タイムカプセルの開封では、当時のことを思い出し、皆さんとても懐かしそうでした。





森林ボランティア活動体験を開催 [11/26・今市]

川治地区田茂沢分収造林地内で森林ボランティア活動体験を開催し、シカヤクマなどによるスギやヒノキの皮剥き被害防止に有効な、皮剥防止帯の設置活動を体験しました。



文・写真：農林課

土地改良区の予備契約調印式 [11/26・今市]

農村環境改善センターにおいて、上都賀農業振興事務所長と市長を立会人として、今市地域の11土地改良区の合併による「日光市土地改良区」の発足に向けた予備契約調印式が執り行われました。

これにより、将来的に安定した組織を目指して、4月1日の新土地改良区設立に合意しました。



文・写真：今市地区土地改良区協議会

農業委員が畑の先生 [12/1・今市]

遊休農地の有効利用と食農教育を兼ねて、秋野菜の栽培に取り組みました。その収穫では、農業委員が畑の先生となり、使われていない農地も耕して管理すれば立派な畑になることや、野菜の栄養、かまの使い方などを説明した後、南原小学校の4年生約70名が収穫体験しました。採れた野菜は給食にも使われました。



文・写真：農業委員会

遊歩道などが整備されました [12/15・今市]

200名を超える地域住民が参加した、城山(しろやま)城址遊歩道整備事業が、12月15日に完了しました。この事業は、戦国武将板橋将監(いたばしやうげん)親棟の城の遺構が残る板橋の城山を、自然や郷土の歴史を学ぶ場として整備するために実施しました。

階段の整備や立木の伐採、東屋とベンチの設置により、山頂は日光連山を見渡せる眺望になりました。



文・写真：板橋遊歩道整備委員会

暮らしのガイドブックの協定締結 [12/24]

市では、広告・出版業の(株)サイネットと、官民共同で暮らしのガイドブックを発行する協定を締結しました。このガイドブックは、行政情報のほか、身近な地域情報なども掲載した情報紙として取りまとめ、7月に発行の予定です。



文・写真：秘書広報課

バスケットボール16男子日本代表候補選手会 [12/24]

今市中学校3年生の橋本晃佑(はしもとこうすけ)さんが、海外遠征の前に、市役所へあいさつに訪れました。今年初めて開催されるアジア16歳以下男子選手権で、上位入賞を目指す日本チームの候補選手として、海外遠征や合宿に参加する橋本さん。日本バスケットボール界が注目する逸材で、今後の活躍が期待されます。

今年初めて開催されるアジア16歳以下男子選手権で、上位入賞を目指す日本チームの候補選手として、海外遠征や合宿に参加する橋本さん。日本バスケットボール界が注目する逸材で、今後の活躍が期待されます。



文・写真：日光市体育協会

地域のニュースを募集します!!

このコーナーでは、皆さんから記事・写真の投稿を募集しています。

募集する記事 自治会の催しや、地域のちよつと珍しい出来事、心温まるエピソードなど

※内容によっては掲載できない場合があります。応募方法 記事に写真を添え、住所・氏名・電話番号を明記の上、郵便かEメールで送付するか、持参でご応募ください。

○記事：140字程度(題名、日付、場所を別に記載してください)

○写真：紙焼き・デジタルデータどちらでもOKです。ただし、携帯電話のカメラで撮ったものなど、大きくした際に画像が荒れるものは不可とします。

あて先 〒321-1292 日光市今市本町1番地 日光市役所企画部秘書広報課 広報広聴係 Eメールアドレス hshokouhou@city.niiko.lg.jp